

パソコン用のソフトウェア「パワーポイント」を、「発表などしないから」と眠らせていませんか。実は、パワーポイントには仕事以外にも楽しい使い道があります。テンプレート（ひな型）という仕組みを利用して、子どもの成長記録や旅先の思い出の写真を自動再生できるアルバムにまとめてみましょう。

 パワーポイントは「ワード」「エクセル」と並ぶマイクロソフトのオフィスシリーズのひとつです。今やプレゼンテーション用ソフトの標準とされるほどの定番となっています。

ワードやエクセルとの最大の違いは、自由なレイアウトができること。画像を挿入するたびに文章の折り返し位置を決めたり、表の幅や高さを調整したりする手間がありません。写真や図形、テキストや動画を、自由な大きさで好みの位置に配置できます。

また、数多く用意されているテンプレートから「フォトブック」

を選んで使えば、プロ顔負けのデザインで、手軽にオリジナルアルバムを作れます。

まずパワーポイントを起動して、画面上部の「オンラインテンプレートとテーマの検索」と記された検索窓に「フォトブック」と入力しましょう。写真アルバム向けのテンプレートがいくつも表示されます。好みのものを選んでクリックすると、サンプルが表示されるので、選んで「作成」ボタンを押すと編集画面へ移ります。

パワーポイントのバージョンによっては、起動時に編集画面が開きます。その場合は「ファイル」

タブから「新規作成」を選んでください。テンプレートにあらかじめ貼られている写真をクリックして、「書式」タブから「図の変更」ボタンを押すと、自分の写真に置き換えられます。

 文字が書かれたテキストボックスは、クリックして好きな文に直しましょう。写真やテキストは、ドラッグして移動したり、回転や拡大・縮小したりできます。不要なものは「ホーム」タブのハサミマークのボタンで切り取れます。

テキストボックスは一度クリックするとすぐに編集モードへ入ってしまいます。場所を移したい時などは迷いますが、外枠の囲まれた部分をクリックするかESCキーを押すと、選択された状態になり、移動や変形ができます。

作業が完了したら「ファイル」

タブから「名前を付けて保存」をします。これでオリジナルのフォトブックの完成です。印刷もできますが、オススメはスライドショーとして楽しむ方法です。

最近のパソコンの多くは、DVDプレーヤーやゲーム機と同じ「HDMI端子」があるので、テレビの大画面などに簡単に映し出せます。家族や親類が集まる日に上映するのも楽しいでしょう。

「スライドショー」タブに切り替えて「最初から」ボタンを押せば、マウスをクリックするたびに次々と写真が切り替わります。終了するにはESCキーです。

何げない日常の一コマも、アルバムに編集したものが、メッセージや美しいレイアウトと共に流れると、いっそう心に残ります。結婚披露宴や同窓会の演出にも使えます。（ライター・深町卓史）

思い出をスライドショーで

パワーポイントで写真アルバムを作ろう (画面はウィンドウズ版 PowerPoint 2016)

PowerPoint (Office アプリケーション)
マイクロソフト

1 テンプレートを検索する



パワーポイントを開き、画面上部の検索窓で「フォトブック」と入力して検索

2 テンプレートを選ぶ



さまざまなテンプレートから好みのデザインを選び、「作成」ボタンをクリックして編集画面へ進む

3 写真やテキストを置き換える



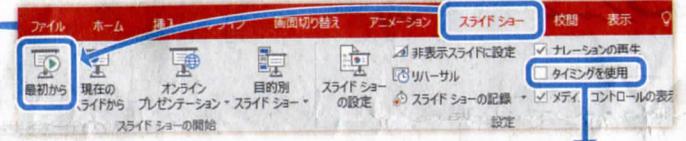
サンプルの写真をクリックして選択。「書式」タブの「図の変更」ボタンをクリックし、デジカメなどで撮影した写真を選択すると写真が置き換わる。テキストはクリックして編集する



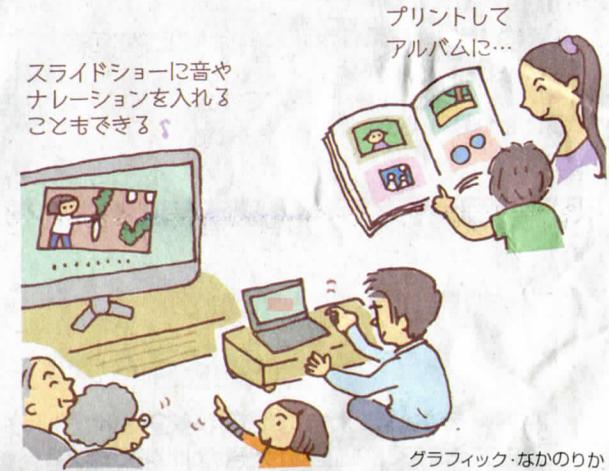
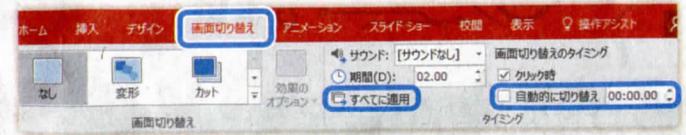
スライドショーを楽しむには...



「スライドショー」タブの「最初から」を押すと全画面再生が始まる。自動再生するには、「タイミングを使用」にチェックし、



次に「画面切り替え」タブの「自動的に切り替え」にチェックして時間を設定。全画面が同じなら「すべてに適用」をクリック



スライドショーに音やナレーションを入れることもできる

プリントしてアルバムに...

グラフィック・なかのりか